



第2640地区

創立日 昭和26年(1951)2月16日
例会会場 毎週木曜日12:30
ホテル・アゴーラー・ジェンシー大阪堺3F
TEL (072) 224-1121
〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
ホテル・アゴーラー・ジェンシー大阪堺8F
TEL (072) 238-3250
FAX (072) 232-3711
会長 ~~近森 裕子~~ 福井 隆一郎
幹事 谷村 大助
会報担当 黒川 眞男



世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

2023-24年度国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://www.rid2640g.com/tani/>

本日の例会

第3511回例会(33) 2024年3月14日

国際奉仕フォーラム

- 例会ソング 「日も風も星も」
「知床旅情」
- 今月の記念日のお祝い
- テーマ 「今年度の台中東南RCとの交流について」
- リーダー 奥中国際奉仕委員長

前週の例会

第3510回例会(32) 2024年3月7日

例会ソング 「君が代」
「四つのテスト」

- 卓話 『明治安田生命「関西を考える会」について』
- スピーカー 明治安田生命保険(相)
総務部 大阪総務室
審議役 高澤範治氏

次週の例会

第3512回例会(34) 2024年3月21日

- 今月の皆出席のお祝い
- テーマ 「堺の文化振興のために
～広がるフィールド～
財団の取組み」
- スピーカー (公財)堺市文化振興財団
理事長 服部一史氏
- 紹介者 鹿毛靖会員



紹介者 睦谷泰秀会員

今月の記念日

- 宮奥 善恵会員 (1日)
樋口 正憲会員、雅美さん (8日)
奥中 泰征会員、公乃さん (9日)
木澤 憲一会員、輝子さん (25日)

第9回定例理事役員会議事録

日時 2024年3月7日(木) 例会後～
場所 ホテル・アゴーラリージェンシー
大阪堺 8階 事務局
出席者 福井・林・佐野・神山・信田・倉
尾関・谷村・広瀬・高橋・鹿毛
木澤(オブザーバー)
(敬称略)

I. 議案

1. 入会候補者審査の件
I氏 1回目 承認
2. 2024年度米山奨学生世話クラブ決定、
カウンセラーの件
・中国 男 大阪観光大学 観光学科
3年
・2024年3月～2026年3月までの2
年間
・カウンセラー 西座新二会員
承認
3. 会員退会の件
睦谷泰秀会員(転勤の為3月末)
樂木宏実会員(移動の為3月末)
承認
4. 事務職員退職の件
堀内二美さん退職(3月末)
後任者、天正晃代さん
週3日(月、水、金 10時～4時 時間
給@1,070 交通費@240×2) 承認
5. 75周年実行委員会の件
広瀬幸次郎会員を委員長に推薦。
承認
6. 堺7RC協議会の今後の進め方の件
堺RCとしては、堺7RC連絡会の名
称に戻し、検討事項は各ロータリーで

持ち帰り、理事役員会で諮りクラブの判
断で進めていく。 承認

II. 報告事項

1. 堺RC1月度、2月度収支広告
収支報告書添付
2. 堺7RC連絡会2月度報告
報告資料添付

ローターアクトクラブ例会のお知らせ

第2例会 3月27日(水) 18:30～
於: 方違神社
○第42回RAC地区年次大会
日時 4月6日(土) 13:00～
会場 南海グリル堺 東店
参加希望の方は事務局までお申込みく
ださい。(締切日 3月15日)
青少年アクト委員会より

他クラブ例会変更のお知らせ

堺泉ヶ丘RC

3月26日(火)の例会は 休会
(定款第7条第1節の規定により)

SRフォト同好会

—思い出のアルバム—

『大阪南港を出国する「さんふらわあ」』
大輪の花のように光線を放つ朝の太陽が
水平線の下から立ち昇ってきたような情
景が白い船体の側面に大きく描かれてお
り、絵として描かれた水平線と実際の船の
喫水線はおおよそ一致するようデザイン
されています。



西座新二会員

ロータリーニュース



ロシアがウクライナに侵攻してから2年が経過した現在も、世界中のロータリー会員が資金を集め、医薬品や燃料などの生活必需品を被災者に送り続けています。

ロータリー財団が特設した救援基金（現在は寄付を受け付けていません）には、世界中から1,740万ドルの寄付が寄せられました。この寄付は、375口以上の補助金としてロータリー会員によるさまざまな支援活動に活かされました。

また、世界各地で多くのロータリークラブと地区が地元でウクライナ支援のための人道的活動に乗り出しました。第2232地区（ウクライナ）との連携の下、これらの支援活動によって医薬品、医療機器、救急車、発電機、暖房用燃料、冬用備品などの救援物資が被災者に届けられました。

2022年2月24日のロシアのウクライナ侵攻以来、ウクライナでロータリーの存在感が高まったと、第2232地区のバスター・ミコラ・スタビャンコさんは言います。「以前よりも活発に活動しており、組織としてさらに確立された」とスタビャンコさん。「地元の人たちから多くの支援要請が寄せられ、国外のクラブからの支援の申し出も増えています。これを見た人たちが、ロータリーへの入会に関心を抱くようになっていきます」

スタビャンコさんによると、ウクライナではこの2年間に500人以上の新会員がクラブに入会しました。この急成長のおかげで、地区では新会員勧誘に時間を費やす必要

はほとんどありませんでした。代わりに、その時間を使って、ロータリー会員であることの意義を新会員に教え、積極的参加を促しました。

また、奉仕活動が増えたことでメディアからの注目も高まりました。

スタビャンコさんはこう言います。「戦争の前、ニュースでロータリーを取り上げるメディアはありませんでした。今では、ロータリーからの支援や活動のインパクトにメディアが注目し、取り上げてくれるようになりました」

第2232地区の2023-24年度ガバナーであるミロン・ウリンさんは、これまで数カ月、ウクライナ国内全域から詳細な状況報告を集めてきました。救援活動を導き、支援方法がわからないという国外の会員に支援方法を提案するために、これらの報告を役立てています。

第2232地区では、ウクライナ国外のクラブ・地区による支援活動を援助する委員会も結成しました。この委員会は、国外と国内のクラブ・地区を結びつけています。

ウリンさんによると、援助を申し出る手紙が世界中から毎日数十通も届くそうです。最近のビデオ会議で、その日の朝に届いた手紙の束を手に、ウリンさんはこう言いました。

「これが、私が報告を集める理由です。国全体の状況を把握し、情報を交換し、活動のインパクトを高めるためです。ほかのロータリークラブや地区とのネットワークとパートナーシップを今後も継続していきたいと思います」

3月のロータリーレート

1ドル → 151円

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

R財団委員会より